慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	瀧口修造におけるシュルレアリスムの展開 : 戦前/戦後の「共同性」をめぐって
Sub Title	Le développement du surréalisme chez Shuzo Takiguchi : sur son activité collective de l'avant et l'après guerre
Author	笠井, 裕之(Kasai, Hiroyuki)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	日本のシュルレアリスムは戦時下の思想統制の激化とともに途絶したとの見方がある。しかし瀧口が戦前に参画したシュルレアリスム運動と、戦後のジャンルと国境を越える活動、とりわけデュシャン、ミロ、タピエスとの共同制作とを一貫した視座で捉えることにより、瀧口独自のシュルレアリスムの展開を跡づけることが可能ではないか——。本研究はこの視点に立ち、国内外に所蔵されている各種資料を精査し、瀧口修造が戦前戦後を通じてシュルレアリスムをいかに受容し発信したかを「共同性」の観点から検証しようとする試みである。 2018年度の活動の中心としたのは以下の2点である。 （１）瀧口とミロとの共同作業に関する資料調査。慶應義塾大学アート・センターの「瀧口修造アーカイヴ」、スペインのジョアン・ミロ財団等ですでに収集した瀧口とミロが交わした書簡の分析を進めた。また富山県美術館の「瀧口修造コレクション」、多摩美術大学アートテークの「瀧口修造文庫」で資料調査を行なった。 （２）山中散生の戦前の活動に関する資料調査。瀧口の戦前の資料一切は戦災により失われている。それだけに瀧口と共に戦前の日本のシュルレアリスムを主導した山中散生が残した資料は重要である。慶應義塾大学日吉図書館の「山中散生コレクション」所蔵の資料を精査するとともに、フランスのサン＝ドニ芸術歴史美術館「ポール・エリュアール・コレクション」を訪問し、戦前に山中がエリュアールに送った書簡、書籍等の資料を確認した。 今後は以上の調査研究を発展させ、本研究の成果発表となる研究書の刊行に向け、引き続き努力を傾けたい。 1. Avoir mené des enquêtes de documents sur la collaboration de Takiguchi avec Miró. (Aux archives Shuzo Takiguchi au Centre d'art de l'Université Keio, à la Fundació Joan Miró à Barcelone, à la Collection Shuzo Takkguchi au Musée préfectoral de Toyama et à la Bibliothèque Shuzo Takiguchi à l'Artthèque de l'Université des Beaux-Art Tama.) 2. Avoir mené des enquêtes de documents sur les activités de Tiroux Yamanaka. (À la Collection Tiroux Yamanaka à la Bibliothèque de Hiyoshi, l'Université Keio et au Fonds Paul Éluard au Musée d'art et d'histoire de Saint-Denis.)
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180049

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2020 年 1 月 9 日

2018 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	300 （A） 千円
	氏名	笠井 裕之	氏名（英語）	Hiroyuki KASAI		

研究課題（日本語）

瀧口修造におけるシュルレアリスムの展開：戦前／戦後の「共同性」をめぐって

研究課題（英訳）

Le développement du surréalisme chez Shuzo Takiguchi : sur son activité collective de l'avant et l'après guerre

１．研究成果実績の概要

日本のシュルレアリスムは戦時下の思想統制の激化とともに途絶したとの見方がある。しかし瀧口が戦前に参画したシュルレアリスム運動と、戦後のジャンルと国境を越える活動、とりわけデュシャン、ミロ、タピエスとの共同制作とを一貫した視座で捉えることにより、瀧口独自のシュルレアリスムの展開を跡づけることが可能ではないか──。本研究はこの視点に立ち、国内外に所蔵されている各種資料を精査し、瀧口修造が戦前戦後を通じてシュルレアリスムをいかに受容し発信したかを「共同性」の観点から検証しようとする試みである。

2018 年度の活動の中心としたのは以下の 2 点である。

(1)瀧口とミロとの共同作業に関する資料調査。慶應義塾大学アート・センターの「瀧口修造アーカイヴ」、スペインのジョアン・ミロ財団等ですでに収集した瀧口とミロが交わした書簡の分析を進めた。また富山県美術館の「瀧口修造コレクション」、多摩美術大学アートテークの「瀧口修造文庫」で資料調査を行なった。

(2)山中散生の戦前の活動に関する資料調査。瀧口の戦前の資料一切は戦災により失われている。それだけに瀧口と共に戦前の日本のシュルレアリスムを主導した山中散生が残した資料は重要である。慶應義塾大学日吉図書館の「山中散生コレクション」所蔵の資料を精査するとともに、フランスのサン＝ドニ芸術歴史美術館「ポール・エリュアール・コレクション」を訪問し、戦前に山中がエリュアールに送った書簡、書籍等の資料を確認した。

今後は以上の調査研究を発展させ、本研究の成果発表となる研究書の刊行に向け、引き続き努力を傾けたい。

２．研究成果実績の概要（英訳）

1. Avoir mené des enquêtes de documents sur la collaboration de Takiguchi avec Miró. (Aux archives Shuzo Takiguchi au Centre d'art de l'Université Keio, à la Fundació Joan Miró à Barcelone, à la Collection Shuzo Takkguchi au Musée préfectoral de Toyama et à la Bibliothèque Shuzo Takiguchi à l'Artthèque de l'Université des Beaux-Art Tama.)

2. Avoir mené des enquêtes de documents sur les activités de Tiroux Yamanaka. (À la Collection Tiroux Yamanaka à la Bibliothèque de Hiyoshi, l'Université Keio et au Fonds Paul Éluard au Musée d'art et d'histoire de Saint-Denis.)

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）
笠井 裕之	映画『日曜日の散歩者』解説	三田文学スペシャルイベント「時が超える青春──詩が結ぶ台湾と三田」	2018 年 11 月
笠井 裕之	センチメンタルな金時計	アムバルワリア祭 VIII「西脇順三郎 影響と受容」（慶應義塾大学アート・センター）	2019 年 1 月